

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成30年～平成34年度(5年間)																				
事業実施地区名 (都道府県名)	(いなだに) 伊那谷森林計画区 (長野県)	事業実施主体	中部森林管理局 南信森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本事業は、伊那谷森林計画区の伊那市を含む5市8町10村に所在する約71千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、長野県の南東部に位置し、森林の現況はコメツガ等の亜高山性の針葉樹を主体とした天然林が多く、人工林24%、天然林63%、その他13%となっている。人工林の樹種別面積割合は、カラマツ76%、ヒノキ17%、その他7%で、カラマツが占める割合がきわめて高い地域である。このような森林資源が充実する中、人工林における樹齢構成のうち、除伐や間伐等の保育作業適期を迎えている5齢級から12齢級の占める割合が70%と高いことから、低コスト作業システム等を活用した間伐作業の実施等、なお一層の森林整備の必要性が高まっている。</p> <p>本地域は、長野県産の人工林カラマツを始めとした木材の生産地であり、流通・加工団地によるカラマツ・ヒノキの産地形成が進んでいることから、国有林においても、木材の安定供給に関する要請があり、その実施を通じて地域産業の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>また、本地域は、下流域の生活用水等の重要な水源地帯であるとともに、大断層の「糸魚川－静岡構造線」と「中央構造線」の二大構造線が通るなど、複雑な地形、地質の条件から、水源の涵養及び土砂の流出・崩壊の防備等の国土保全の役割が重要となっている。</p> <p>このほか、優れた自然景観等に恵まれた北八ヶ岳自然休養林、八ヶ岳連峰、霧ヶ峰周辺、中央アルプス等の観光地及び森林を利用した森林浴等の保健休養の場、登山などの場所として、森林レクリエーション資源が豊富であることから、観光資源としての特性も兼ね備えている。このことから、山地災害による人命・施設の被害防備や自然環境の保全、風致景観の維持及び保健休養の場の提供などの公益的機能を高度に発揮させることが求められている。</p> <p>このため、本事業においては、こうした地域の要請やニーズに応えつつ、水源の涵養をはじめとした公益的機能の維持増進を図ることを目的として、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施する。</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">175ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">2,933ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">8.8km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">2.6km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,817,682 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	175ha			保育面積	2,933ha		路網整備	開設延長	8.8km			改良延長	2.6km	総事業費			2,817,682 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	175ha																				
		保育面積	2,933ha																				
	路網整備	開設延長	8.8km																				
		改良延長	2.6km																				
総事業費			2,817,682 千円																				
費用便益分析	総便益(B)	8,347,139 千円																					
	総費用(C)	4,188,902 千円																					
	分析結果(B/C)	1.99																					
中部森林管理局事業評価技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当と判断される。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性 水源の涵養、国土の保全及び地球温暖化防止対策などの公益的機能の維持増進並びに木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性 費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性 事業計画は、保育等の森林整備を通じ、多面的機能を発揮する健全な森林の育成に資するものであり、路網の整備についても森林整備と連携したものとなっている。加えて、木材の安定供給を行うなど地域産業の振興にも資するものとなっていることから、有効な事業であると認められる。</li> </ul>																						

**便 益 集 計 表**  
(森林整備事業)

事業名 : 森林環境保全整備事業  
 施行箇所 : 伊那谷森林計画区

都道府県名 : 長野県  
 (単位 : 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	1,932,304	
	流域貯水便益	556,227	
	水質浄化便益	1,276,800	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,243,166	
環境保全便益	炭素固定便益	365,526	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	324,218	
	木材生産確保・増進便益	635,709	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	983,669	
維持管理費縮減便益		29,520	
総 便 益 (B)		8,347,139	
総 費 用 (C)		4,188,902	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{8,347,139}{4,188,902}$		= 1.99

# 森林環境保全整備事業 伊那谷森林計画(長野県) 事業概要図

伊那谷森林計画区

中部森林管理局管内  
森林計画区位置図

森林整備事業 (下刈前)



(下刈後)



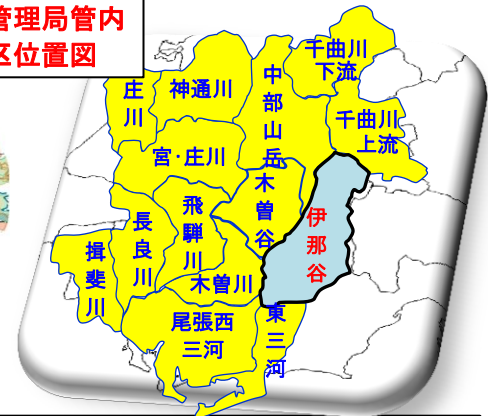
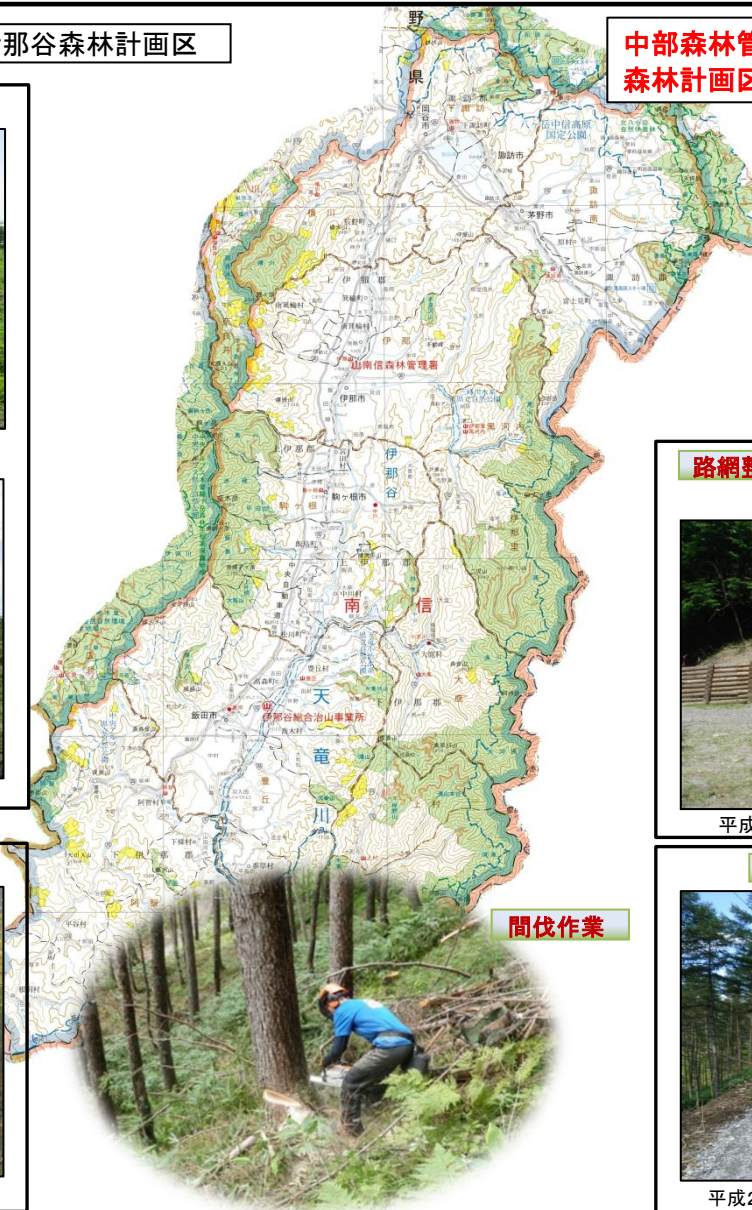
平成29年度 南信森林管理署 下刈

森林整備事業 (間伐後)



平成29年度 南信森林管理署 保育間伐

間伐作業



路網整備事業 (林道改良工事)

間伐材等を使用した丸太柵工



平成29年度 南信森林管理署 星ヶ塔林道改良工事

路網整備事業 (林道新設工事)



平成29年度 南信森林管理署 兀嶽林業専用道新設工事